

授業紹介「シラバス」

授業科目名：基礎演習A	単位数：2
担当教員名：宮崎三世	
対象学生：国文2	
副題 近代文学研究の初歩	
<p>授業の到達目標 太宰治の初期作品「陰火」を読むことで、近代文学に対する理解を深め、近代文学研究の初歩を学ぶ。 授業での発表を通して、わかりやすく資料をまとめ、それをもとに人前で説得力を持つように話す力、わかりやすい文章を書く力を養う。</p>	
<p>授業の概要 最初に授業の目標、授業概要とレジュメの作り方、受講上の注意事項等について講義し、文献の調査・考察方法および発表用資料作成の基礎を学ぶ。 その後、受講生に順番に発表してもらい、それを受けて全員で討議する。それを通して、他人の見解をよく理解し、その上でそれに検討を加える姿勢を養う。 質疑応答の内容と教員からのコメントを受け、受講生各自発表内容を練り直していく。 その他、近代文学に関わりのある場所を訪れ、研究を深めることも予定している。 関連科目は、国文学基礎講座、講読近代、国文学史2など。</p>	
<p>授業計画 1. ガイダンス（授業の目標・計画・受講上の注意事項・成績評価の方法等についての説明）及び、メンバーの自己紹介。発表の順番等を決める。近代文学研究の基礎知識についての講義。発表の内容・方法等についての解説。 2. 前回に引き続き、近代文学研究の基礎知識についての講義。発表の内容・方法等についての解説。発表資料・レポートの注意事項確認。 3. 太宰治「陰火」について——「誕生」「紙の鶴」の討議 4. 太宰治「陰火」について——「水車」「尼」の討議 5. 近代文学に関わりのある場所を訪れ、研究を深める。 6. 受講者の発表・全員での質疑応答・指導教員からの講評を順次行ってゆく。——「誕生」①先行研究の理解を中心に 7. 同上??「誕生」②「彼」の語られ方を中心に 8. 同上??「誕生」③結末の考察を中心に 9. 同上??「紙の鶴」①先行研究の理解を中心に 10. 同上??「紙の鶴」②「おれ」の語り方を中心に 11. 同上??「水車」①先行研究の理解を中心に 12. 同上??「水車」②結末の考察を中心に 13. 同上??「尼」①先行研究の理解を中心に 14. 同上??「尼」②結末の考察を中心に 15. まとめ。レポート作成の注意事項解説。</p>	
<p>授業時間外の学習について 発表用レジュメは、発表の1週前の授業で教員・受講生全員に配布することとします（厳守）。他の受講生の発表の質疑に参加しやすいよう、レジュメをよく読んで、質問や意見を出せるように準備して授業に臨んでください。 発表後は、質疑応答・教員からのコメントを反映できるように、各自で期末レポートに向けて内容を書き直してください。</p>	
<p>学生へのメッセージ <履修上の注意> 無断欠席は厳禁です。特に自分の発表の時に休むことのないよう、体調管理なども含めて注意してください。 提出物の厳守し、提出場所にも注意してください。 他の受講生の発表の質疑の際にも、積極的な態度で臨んでください。</p>	
<p>教科書 授業中に指示する。</p>	
<p>参考書 討議の状況に応じて、授業中に指示する。</p>	
<p>評価方法 授業参加状況 40 他の受講生の発表の際、積極的に質疑に参加することを重視します。 発表 30 注意事項を守り、自分で調査・考察した内容を、わかりやすくまとめられているかどうかを見ます。期末レポート 30 授業をふまえて発表内容を練り直し、執筆要領を守って、きちんと文章化できているかどうかを見ます。</p>	
<p>京女 AL アクティブ・ラーニング区分 ②対話型授業（発表の際、教員が講評し、更に学生からの質問に答える。）③授業時間外学習（自ら主体的に課題を発見し、それを分析・解決する方法を編み出して結論を出し、文章にまとめる。）⑤ディスカッション（他の受講生の発表の際も、質疑応答に積極的に参加する。）⑥プレゼンテーション（③で自ら調査し考えた内容について、発表する。）⑦フィールドワーク（近代文学に関わりのある場所を訪れ、研究を深める。）</p>	

授業紹介「シラバス」

授業科目名：基礎演習B	単位数：2
担当教員名：宮崎三世	
対象学生：国文2	
副題 近代文学研究の初歩	
授業の到達目標 太宰治の初期作品「陰火」を読むことで、近代文学に対する理解を深め、近代文学研究の初歩を学ぶ。 授業での発表を通して、わかりやすく資料をまとめ、それをもとに人前で説得力を持つように話す力、わかりやすい文章を書く力を養う。	
授業の概要 最初に授業の目標、授業概要とレジュメの作り方、受講上の注意事項等について講義し、文献の調査・考察方法および発表用資料作成の基礎を学ぶ。 その後、受講生に順番に発表してもらい、それを受けて全員で討議する。それを通して、他人の見解をよく理解し、その上でそれに検討を加える姿勢を養う。 質疑応答の内容と教員からのコメントを受け、受講生各自発表内容を練り直していく。 その他、近代文学に関わりのある場所を訪れ、研究を深めることも予定している。 関連科目は、国文学基礎講座、講読近代、国文学史2など。	
授業計画 1. ガイダンス（授業の目標・計画・受講上の注意事項・成績評価の方法等についての説明）及び、メンバーの自己紹介。発表の順番等を決める。近代文学研究の基礎知識についての講義。発表の内容・方法等についての解説。 2. 前回に引き続き、近代文学研究の基礎知識についての講義。発表の内容・方法等についての解説。発表資料・レポートの注意事項確認。 3. 太宰治「陰火」について——「誕生」「紙の鶴」の討議 4. 太宰治「陰火」について——「水車」「尼」の討議 5. 近代文学に関わりのある場所を訪れ、研究を深める。 6. 受講者の発表・全員での質疑応答・指導教員からの講評を順次行ってゆく。——「誕生」①先行研究の理解を中心に 7. 同上??「誕生」②「彼」の語り方を中心に 8. 同上??「誕生」③結末の考察を中心に 9. 同上??「紙の鶴」①先行研究の理解を中心に 10. 同上??「紙の鶴」②「おれ」の語り方を中心に 11. 同上??「水車」①先行研究の理解を中心に 12. 同上??「水車」②結末の考察を中心に 13. 同上??「尼」①先行研究の理解を中心に 14. 同上??「尼」②結末の考察を中心に 15. まとめ。レポート作成の注意事項解説。	
授業時間外の学習について 発表用レジュメは、発表の1週前の授業で教員・受講生全員に配布することとします（厳守）。他の受講生の発表の質疑に参加しやすいよう、レジュメをよく読んで、質問や意見を出せるように準備して授業に臨んでください。 発表後は、質疑応答・教員からのコメントを反映できるように、各自で期末レポートに向けて内容を書き直してください。	
学生へのメッセージ <履修上の注意> 無断欠席は厳禁です。特に自分の発表の時に休むことのないよう、体調管理なども含めて注意してください。 提出物の厳守を厳守し、提出場所にも注意してください。 他の受講生の発表の質疑の際にも、積極的な態度で臨んでください。	
教科書 授業中に指示する。	
参考書 討議の状況に応じて、授業中に指示する。	
評価方法 授業参加状況 40 他の受講生の発表の際、積極的に質疑に参加することを重視します。 発表 30 注意事項を守り、自分で調査・考察した内容を、わかりやすくまとめられているかどうかを見ます。期末レポート 30 授業をふまえて発表内容を練り直し、執筆要領を守って、きちんと文章化できているかどうかを見ます。	
京女ALアクティブ・ラーニング区分 ②対話型授業（発表の際、教員が講評し、更に学生からの質問に答える。）③授業時間外学習（自ら主体的に課題を発見し、それを分析・解決する方法を編み出して結論を出し、文章にまとめる。）⑤ディスカッション（他の受講生の発表の際も、質疑応答に積極的に参加する。）⑥プレゼンテーション（③で自ら調査し考えた内容について、発表する。）⑦フィールドワーク（近代文学に関わりのある場所を訪れ、研究を深める。）	